

第18回

ヤマト福祉財団小倉昌男賞

募 集



- 正 賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」
- 副 賞：賞金 100万円
- 募集期間：平成29年7月1日～9月15日

公益財団法人ヤマト福祉財団

障がい者の自立と社会参加を支援する—— 公益財団法人ヤマト福祉財団。



夢へのかけ橋実践塾の塾生が立ち上げた店舗のオープンに塾長として立ち会う第3回ヤマト福祉財団賞受賞者
武田 元氏（中列右から2番目 NPO コンパスの会 埼玉県三郷市）

ヤマト福祉財団は、こんな財団です。

（公財）ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年9月、ヤマト運輸株式会社の元社長・会長を歴任し、クロネコヤマトの宅急便を作り上げた故・小倉昌男氏（当財団初代理事長）の個人資産の寄付により創設されました。

財団の母体となっているのは、ヤマトホールディングス株式会社とそのグループ会社、ヤマトグループ企業労働組合連合会、各グループ会社の社員と労働組合員、約7万1千名です。法人、個人の賛助会員として又、労働組合のカンパ活動として資金面の援助を続けながら、日常の財団活動を多岐に渡って支えています。なお、平成29年3月末現在の財団の基本財産は約83億円となっています。

ヤマトグループの「企業姿勢」のなかに「地域社会から信頼される企業」として「ヤマトグループは、地域の一員として信頼される事業活動を行うとともに、障がいのある方の自立を願い、応援します。」と障がい者支援が明記されています。

ヤマト福祉財団は、こんな事業を展開しています。

- 1 障がい者福祉のための各種事業への助成＝障がいがある学生たちへの奨学金、障がい者の自立と社会参加に関する事業への助成などを行っています。
- 2 障がい者の働く場「パワーアップフォーラム」の開催＝障がい者の働く場や施設・事業所のあり方を実践している講師の方々と考え、地域での取組を交えたフォーラムを開催します。
- 3 「スワンベーカーリー」のチェーン店展開＝障がい者の働く場づくりを目的に設立されたパンの店「スワンベーカーリー」。全国にその輪を広げています。
- 4 「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」の贈呈＝障がい者の自立支援に、著しく貢献した方々を顕彰するこの賞も事業活動の一つです。
- 5 障がい者が地域で共生するために必要な仕事創りの一環として、ヤマト運輸のクロネコDM便配達業務のあっせんなど、具体的な仕事の提供を行っています。
- 6 「夢へのかけ橋」実践塾＝障がい者の工賃の飛躍的向上を目的として、小倉昌男賞受賞者の指導力や実行力を活かし、有志とともに障がい者の働く環境や能力を革新的に高めて、自立への道筋を作ります。

※詳しくは（公財）ヤマト福祉財団のホームページをご覧ください。

<http://www.yamato-fukushi.jp/>

